

もう雪をやる場所がない！

豪雪地から悲鳴上がる

上越市の5つの区に災害救助法が適用され、国は要援護世帯など救助が必要な世帯の除雪支援を行います。

12日、吉川区坪野、尾神、名木山、浦川原区上猪子田、牧区泉、高尾、棚広新田の道路、家屋除雪状況などを見ってきました。このうち浦川原区上猪子田だけが災害救助法適用外ですが、積雪も被害状況も適用地区とほとんど変わりません。改めて、災害救助法は全市域に適用すべきだと思えました。

全体として3年前の大雪を上回る積雪となっていて、「もう雪をやる場所がない」などの悲鳴が上がっていました。中には、「家屋は周りをきれいにしてもらったが、倉庫はあきらめた」という家もありました。



吉川区坪野



大島区竹平↑（ここは6日撮影）

浦川原区上猪子田→

牧区棚広新田↓

除雪業者も悲鳴

災害救助法適用期間は10日間となっています。基本的にはこの期間内に除雪を完了させなければなりません。しかし近年は、除雪をする業者（個人経営を含む）は人手不足です。これまで約束していた人家の除雪を後回しという訳にもいきません。期間の延長も検討してほしいところです。



牧区高尾



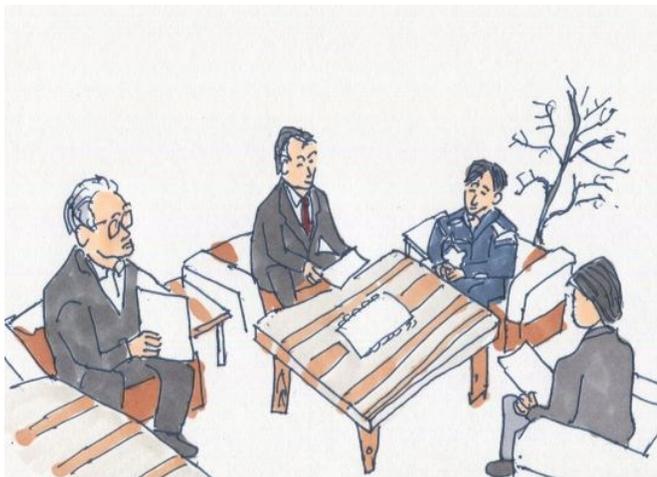
【ネコヤナギ】（再掲）ヤナギ科の落葉低木。春の訪れを告げる花ということもあって、多くの人から愛されています。私は子どもの頃から今日に至るまでネコヤナギの花を毎年楽しみにしています。花期は通常3月から4月ですが、昨年も今年も2月に入って間もなく咲きました。花言葉は、「自由」「開放的」「親切」など。写真は2月12日、吉川区代石にて撮影。

災害救助法適用で市議会が市長に緊急要請

上越市議会は10日の夕方、中川幹太市長に対して、「新潟県に対し、災害救助法を一刻も早く適用すること、適用基準を柔軟に運用することを求めてほしい」と要請しました。中川市長は「県にしっかりと伝え、対応していく」と答えました。

この要請には渡邊議長、高山総務常任委員長、災害対策特別委員長の私が参加しました。この要請の少し前に新潟県は上越市牧区、安塚区、大島区に災害救助法を適用すると発表しました。

翌日の11日には、適用区域が吉川区、清里区にも広がりました。



はしづめ法一の活動レポート

No.2192 2025.2.16

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第八三九回 ハツラツ九五歳

九五歳のイメージが変わりました。こんなにも若々しくて、「元気だとは……」。

災害救助法が吉川区にも適用になった翌日、私は山間部の高齢世帯などを訪問しました。豪雪の中でちゃんと暮らしているだろうか、危険はないかなどをこの目で、この耳で確かめたいと思ったからです。

訪ねたM子さん宅は三軒目でした。近くの県道には社会福祉協議会（社協）の車がとまっていますので、私と同じような気持ちで訪問されていたのかも知れません。

玄関まで除雪機できれいに雪を飛ばしてありましたが、おそろしく近くのHさんが城戸先の道を除雪して下さったのでしよう。

約三〇分ほど進んで玄関先まで行ってびっくりしました。大きな雪の四角いブロックが落ち、山となっていたのです。その数、少なくとも一五個はあったと思います。M子さん宅はカヤぶきの家でした。それにトタンをかぶせてあります。今回は玄関の屋根雪が一気に落ちたのでしよう。人間がその下にいれば、もちろん命はなかったはず。誰もいなくてよかったのです。

玄関の戸を開けて大きな声で「ごめんください」と呼んだところ、返事があり、じきにM子さんが出てこられました。私は帽子をかぶっていたので、ぬいで顔を見てもらったのですが、最初は「ごなたでしよう」といった感じでしたので、「ホーセです。元気でいになったかいね」と言ったら、ようやくわかってもらえたようです。

玄関には社協のKさんも出てこられました。Kさんは、わが家の母も世話になった職員さんです。靴をはいたところで、そばにあった蠟梅（ろうばい）の生け花を指さし、「いいよね、香りがまたいい」と言ってお鼻を近づけておられました。その様子が素敵だったので、「使いませんか、写真に撮らせてください」とお願いしたところ「いい顔で応じてくれたらいいな」と。

M子さんから、「入ってください」と勧められました。時間は正午近くになっていましたので遠慮したのですが、Kさんに、「家の中からも雪の状態を見てください」と言われました。そこまで言われると、居間には外の光が入っているか、それとも暗くなっているだろうか、と気になりました。

M子さん宅に上がらせてもらったのはこれで二回目だと思います。居間には東側の窓から光が入ってきてはいたものの、少し薄暗い感じがしました。窓の外の雪が邪魔していたのです。

コタツに入らせてもらい、お茶をご馳走になりましたが、立った座ったり、居間と台所の移動など、M子さんの動きがじつにスムーズなのは驚きました。それで、「いくつになんたですか」と聞くと、私の父よりも三歳下だということです。ということは、満九五歳だということになります。それを聞いてまた驚きました。私の母の動きをモノサシにするなら、まだ八十代の動きでした。

ゼンマイ料理をいただきながら、「元気でいなるね」と言うと、M子さんは、「小さな時から、何回も死にそうと言われながらこの歳になった。私は三歳まで歩けなかったがです。それが柿崎のシヨウシヨウジに連れて行ってもらったら、歩けるようになったんです」と言われました。シヨウシヨウジのことを母以外の人から聞くのは初めてでした。三歳以降もいろいろなお話があったのかも知れませんが、それはいつかお聞きしようと思います。

正午を回っていることがわかったので、「ご馳走様でした」と言ってお立ち上がり、窓際にも黄色い花が飾ってあるのが見えました。これも蠟梅です。その花がじつに生き生きとしてきれいです。私にはこの蠟梅とM子さんが重なって見えました。

「かちやの歌」のCD、DVD完成

「かちやの歌」の手作りCD、DVDが出来ました。作詞は、ほーせのとちや+maco、作曲はmaco、歌はコミュニティバンド、「ピアス」のボーカルのmacoさん、演奏は「ピアス」のみなさんです。これで車の中でも聴けます。パソコン、テレビなどでも見れます。作成にあたって、協力してくださった方々に感謝です。ご希望の方は私までご連絡ください。原価でお渡します。携帯090-5392-1961



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月5日(水)	2月12日(水)
上越消防署	0.050	0.050
上越南消防署	0.053	0.043
新井消防署	0.057	0.053
頸北消防署	0.050	0.057
頸南消防署	0.063	0.067
東頸消防署	0.050	0.037
名立分遣所	0.067	0.057
高土分遣所	0.057	0.053

私の地元にある浄土真宗本願寺派寺院・善長寺の掲示板です。コウノトリが繁殖行動するのを賢くなっていったのか。左端にコウノトリのペヤが良く描かれています。

